

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【公表番号】特表2020-504101(P2020-504101A)
 【公表日】令和2年2月6日(2020.2.6)
 【年通号数】公開・登録公報2020-005
 【出願番号】特願2019-531934(P2019-531934)
 【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)
 C 1 2 N 15/13 (2006.01)
 C 1 2 N 15/63 (2006.01)
 C 1 2 P 21/08 (2006.01)
 C 1 2 N 1/15 (2006.01)
 C 1 2 N 1/19 (2006.01)
 C 1 2 N 1/21 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)
 A 6 1 P 37/04 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/28 Z N A
 C 1 2 N 15/13
 C 1 2 N 15/63 Z
 C 1 2 P 21/08
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 N 5/10
 A 6 1 P 37/04
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 A 6 1 K 39/395 D
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 K 45/00

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月28日(2020.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) 3つのCDRを含むV_H鎖及び(i i) 3つのCDRを含むV_L鎖を含む抗OX
 40抗体であって、
 V_HCDR1がアミノ酸配列GFTFSRYGMS(配列番号101)、V_HCDR2が、アミノ

酸配列TINSNGGRTYYPPDSVKG (配列番号102)、V_HCDR3がアミノ酸配列EGITTAYAMDY (配列番号103)、V_LCDR1がアミノ酸配列KASQSVYDYGDSYMH (配列番号104)、V_LCDR2がアミノ酸配列AASILES (配列番号105)及びV_LCDR3がアミノ酸配列QQSNEDPRT (配列番号106)を有する、

抗OX40抗体。

【請求項2】

モノクローナルである、請求項1に記載の抗OX40抗体。

【請求項3】

ヒト化されている、請求項1に記載の抗OX40抗体。

【請求項4】

アミノ酸配列

EVQLVESGGGLVQPGGSLRLSCAASGFTFSRYGMSWVRQAPGKGLLELVATINSNGGRTYYPPDSVKGRFTISRDNKNSLY LQMNSLRAEDTAVYYCAREGITTTAYAMDYWGQGTTVTVSS (配列番号22)を有するV_H鎖及び

アミノ酸配列

DIVMTQSPDSLAVSLGERATINCKASQSVYDYGDSYMHYQQKPGQPPKLLIYAASILESGVPDRFSGSGSGTDFTLTIS SLQAEDVAVYYCQQSNEDPRTFGGGTKVEIK (配列番号32)を有するV_L鎖を含む、請求項3に記載の抗OX40抗体。

【請求項5】

IgGである、請求項1～4のいずれか一項に記載の抗OX40抗体。

【請求項6】

IgG1である、請求項5に記載の抗OX40抗体。

【請求項7】

配列番号41又は42で表されるアミノ酸配列を有する重鎖及び配列番号51で表されるアミノ酸配列を有する軽鎖を含む、請求項4に記載の抗OX40抗体。

【請求項8】

請求項1～7のいずれか一項に記載の抗OX40抗体をコードするヌクレオチド配列を含む1以上の核酸。

【請求項9】

請求項8に記載の1以上の核酸を含む、1以上のベクター。

【請求項10】

請求項9に記載の1以上のベクターで形質転換された真核宿主細胞。

【請求項11】

請求項8に記載の1以上の核酸を発現するように操作された真核宿主細胞。

【請求項12】

哺乳動物宿主細胞である、請求項10又は11に記載の真核宿主細胞。

【請求項13】

抗OX40抗体を産生する方法であって、(a)請求項10又は請求項11に記載の宿主細胞を培養するステップ及び(b)抗OX40抗体を回収するステップを含む方法。